

大阪城公園で観察された生き物の記録

コース No.13

協力：地球館パートナーシップクラブ

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

1: 葉、卵 2: 花、幼虫、幼鳥 3: 果実、蛹 4: 実生、成虫、成鳥 0: その他 植: 植栽

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.

は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草：イヌタデ、ウラジロチチコグサ、エノコログサ、オニタビラコ、オランダミミナグサ、カタバミ、カラスノエンドウ、コセンダングサ、シロツメクサ、チヂミザサ、ヒナタイノコズチ、ヘビイチゴ、ヤブガラシ、ヨモギ

日時：2016年12月18日 10:00~16:30 天候：晴れ

調査者：北川ちえこ 中谷憲一 梶元慶子 松川欣二

一般参加者：3名 事務局：八木綾子

場所：エリア・マップNo.2,3,4,5,6

コメント：ゴマダラチョウの幼虫（青文字で表示）が戻り、これまでの最高22頭が見つかりました。しかし調査地ではエノキの大木が減っていました。今年もヌートリアの泳ぐ姿を見ました。観光客が増え、昼食をとっていた軽食堂がコンビニのようになって買ったものを外で食べるようになっていました。

